

ストラクチャードコミュニケーション

ストラクチャードコミュニケーションとは、「伝達したい情報を構造化し、表現する」ことです。そして、それを行うための技術が、ストラクチャードコミュニケーションスキルです。本研修修了後、次の事項ができることを目標としています。

- (1) 自分の伝えたい情報を構造化し、図を書きながら説明する
- (2) お客様からのヒアリングした情報を構造化し、図にまとめながらお伺いする
- (3) お客様と共に図を書きながら、商談を進める

情報の構造化の種類とその特徴、図による表現方法



(1) 営業においてお客様に説明したり、お客様のご要望をお聞きしたりと、多くの場面で分かりやすいコミュニケーションのスキルが必要です。本研修は、営業活動におけるコミュニケーションにフォーカスし、伝達したい情報を構造化し表現するスキルを習得します。このスキルを修得すると、製品やサービスの紹介、お客様からの質問に対して、伝えたい情報を構造化し図を書きながら説明できます。また、お客様からヒアリングした情報を構造化し図にまとめながらお聞きできます。

(2) 図を書きながら、説明したりお聞きしたりすることで、分かりやすさが格段に増します。特に、お客様のお話をお聞きし図にまとめることは、営業自身の理解を助けるだけでなく、場合によってはお客様ご自身でも不明確であった考えや課題を、整理し構造化し明確にする支援もできます。これは正に、お客様と共に課題を解決する営業スタイルです。

(3) 伝達したい情報を構造化し表現するスキルを修得し知識や理解を図に書くことで、あなたを一層スマートで魅力的に見せることができます。そして、お客様からの強い信頼と大きな期待を得ることができ、商談を優位に進めることができます。

無料

今注目の体験型「ストラクチャードコミュニケーション」公開セミナー

●プログラム紹介(抜粋)

情報を伝えるための基本の型を、演習を通じて学びます。

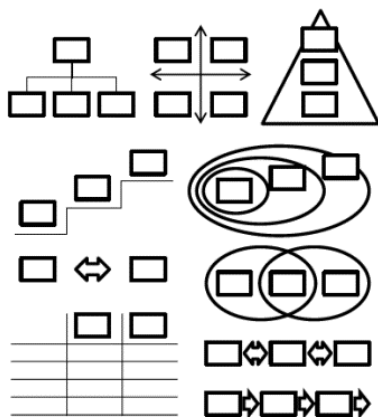
ステップ1: 話を整理する

話の内容(What)を整理するための基本の型を学びます。具体的には、以下の話の設計図の作成手順を学びます。

- (1) 話の目的を明確にする。
- (2) 関連する情報を洗い出す。
- (3) 情報を整理していくつかの話題にまとめる。
- (4) 個々の話題の関連から話の構造を決める。

話の構造として、10の基本パターンを学びます。

- ・並列(ツリー図)
- ・配置(マトリックス図)
- ・階層(ピラミッド図)
- ・段階(ステップ図)
- ・包含(包含図)
- ・重複(集合図)
- ・対比(対比図)
- ・比較(比較表)
- ・関係(ネットワーク図)
- ・順列(フロー図)



話の構造の10の基本パターン

.....つづく



<http://www.sca.jp.net/>

【講師】加島一男 プロフィール

ストラクチャードコミュニケーション協会理事。
国内IT企業及び外資系企業においてSE/営業人材のソリューション提案やコンサルティング活動のスキル向上に従事。



話し手と聞き手が速く確実に相互理解を行うためのコミュニケーション技法を研究し、論理的な情報の構造化と視覚的な図解表現を融合させた「ストラクチャードコミュニケーション」を開発。
ストラクチャードコミュニケーション協会設立と同時に、理事に就任。協会では、主に研究開発と普及啓蒙を担当。

▼facebook

<https://www.facebook.com/scajpn>

4月19日(木)/6月18日(月)/8月23日(木) 15:00~17:00

会場:ニッセイエプロ株式会社 5階会議室(下図参照) 受付開始 14:45より



会場地図



ニッセイエプロ株式会社

5階 会議室

- JR 新橋より徒歩 10分
- 都営三田線 御成門より徒歩 10分

